

## 令和4年度第1回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	令和4年11月24日（木）午前10時～ 多度地区市民センター3階305会議室
出 席 者	委員：8名 事務局：10名
議 事 次 第	1. 開会挨拶 2. 議事 (1) 会長、副会長選出 (2) 令和3年度決算の概要について (3) その他 3. 閉会挨拶
要 旨	<p>1. 開会挨拶 開会后、上下水道部長より挨拶</p> <p>2 (1) 会長、副会長選出 ・会長に宮脇淳委員、副会長に岡良浩委員を選出。 (2) 令和3年度決算の概要について 事務局より水道事業会計の決算について説明 ・有収水量が減っている理由を教えてください。 ⇒市の人口が減少に転じている影響が一番大きいと考えている。今後も人口は減少傾向なので、有収水量も減少傾向が続いていくと思っている。また、節水意識の向上もあるが、各家庭で節水トイレが主流となっており、企業でも節水について意識しているところもあると思っている。 ・年間配水量と有収水量の差ですが、15%くらい給水でない水があるということになっているが、この差はなぜあるのか。差がなくなることはないと思うが、かなり大きい差と感ずる。 ⇒かなり管路が古くなっていることによる漏水が一つの要因と思っている。本管自体の漏れは少なく、宅内に入る給水管での漏水が約8割以上となっている。今後は管路更新率を上げて漏水を減らしていこうと考えている。 ・有収率について、過去からの推移、類似団体の数値について教えてください。 ⇒令和元年度が84.79%、令和2年度が84.21%で過去3年間では少し悪化している状況で、類似団体は令和2年度の数値で88.6%である。 ・管路更新率について、令和2年度は1.58%だが、工事に波があったりするということか。 ⇒多くの管路工事は単年度で施工が終了するが、現在下水道事業においてコストキャップ型整備をしておき、その関係で支障となる水道管の移設を複数年かけて行うこともあることから、多少のばらつきが発生すると考えている。 ・管路更新の指標の取り方は単年度ごとがいいのか、平準化した中で見ていった方がいいのか、今後経営戦略を検討する際に過去の推移を見ることが必要で</p>

はないか。外部要因等の影響を受けるため、指標に照らし合わせた評価にばらつきが出るのであれば、単年度ごとの評価は少々きついのではないかと感じる。

⇒今の決算資料では、工事が完了して初めて決算に実績が反映されるようになっている。複数年工事だとまとめて反映されることになるので、影響が大きくなる。いただいたご意見については今後部内で検討していきたい。

・管路経年化率が 33.34%ということは、全体の水道管の 3 分の 1 が老朽化しているということか。

⇒お見込みのとおりである。今新しく布設する管は 80～100 年の耐用年数が設定されているが、古い管は 40～50 年となっている。

・管路経年化率が類似団体は 19.51%、桑名市は 33.34%だが、類似団体並みに改善していく計画はあるのか。

⇒経営戦略でも目標として謳っているが、新しい管の耐用年数が 100 年ほどであり、100 年で一巡できるように、最低年 1%以上の管路更新を目指している。

事務局より下水道事業会計の決算の概要について説明

・有収率が令和 2 年度と令和 3 年度を比較すると下がっているが、収入が下がるということか。

⇒収入にも影響を与えるが、基本的には処理をした水の量に対して、使用料徴収の対象となる水の量が何%であるかということで、下水道使用料については、水道料金に比例しており、水道メーターを通った水がそのまま処理されれば 100%だが、処理をされる過程において水道メーターを通過していない水が入ってくることによって、率の変動するという考え方である。

⇒補足すると、下水は排水を流して処理場で処理しますが、何らかの原因で雨水など、家庭等から流している以外の水が入り込んでいる可能性があることで、有収率が下がっている。

・水道もそうだが、収益的収支と資本的収支があるが、両方とも収益的収支は黒字だが、資本的収支は赤字である。通常の会計決算の損益計算書とバランスシートとは異なり、どのように考えたらいいか。

⇒企業会計上において、収益的収支の方に減価償却費がある。これは実際に支払っているお金ではなく、一旦資本的支出の建設改良費で支払った工事費を耐用年数に応じた年割で収益的収支の経常費用として計上する費用であり、損益勘定留保資金として留保される。一方、資本的収支については、建設改良費で工事費をそのまま支払うとともに、企業債償還も償還年数ごとに分けて支払っているためマイナス分が発生し、それを損益勘定留保資金で補っている。

(2) その他

事務局より、今後予定している経営戦略の見直しについての説明

3. 閉会挨拶

上下水道部長より挨拶

(以上)